

日本語学習支援サイト RAICHO 報告 (2021年4月～2022年3月)

濱田 美和

1 日本語学習支援サイト RAICHO の概要

「日本語学習支援サイト RAICHO」(以下、「RAICHO サイト」, <http://www3.u-toyama.ac.jp/raicho/>) は、富山大学に在籍する留学生の日本語学習を総合的に支援するための一つの手段として、国際機構が運営しているサイトである。本サイトのねらいは、富山大学で学ぶ留学生の学習を支援するという点にあり、ターゲットを富山大学の留学生に限定することで、サイトに掲載する情報を絞り込み、利用者が必要な情報に容易にアクセスできるようにするという点に重点を置いている(サイト自体は学内外を問わず利用可)。本稿では、RAICHO サイトの2021年度の整備状況について報告し、今後の計画を述べる。

2 2021年度 RAICHO サイト整備状況

RAICHO サイトは、①日本語自己学習(文字、語彙、文法のクイズ)、②開発教材、③情報提供で構成されるが、2021年度は、②開発教材に「漢字の書き順動画」と「漢字(教科書体)画像ファイル」、2つのコンテンツを新たに作成した。いずれもオンライン授業を進めやすくするために開発した教材である。漢字教育では、特に初級レベルにおいて漢字の書き方の指導が必要になる。対面授業では教師が黒板に字を書くことで容易に手本を示せるのに対し、オンライン授業の場合は、教師が手書きで手本を示す際にはペンタブレットやカメラといった機器類の準備が必要となり、教師が行う操作も複雑になるといった問題がある。そこで、プレゼンスライドに容易に挿入可能な「漢字の書き順動画」を作成した。また、漢字教材では、文字フォントに教科書体(小学校の教科書で使われている筆書きの楷書体に近い字体)がよく用いられるが、学習管理システム Moodle の小テスト機能等を用いた Web クイズでは教科書体に文字フォントを設定できない場合が多い。そこで、Web クイズ作成の際に使いやすいサイズで「教科書体の画像ファイル」を作成した。文字周囲の余白をできるだけ少なくし、ファイルを複数並べることで、熟語のクイズ作成にも対応している。

3 今後の計画

2021年度は、②開発教材にオンライン授業用教材を新たに加えたが、今後も継続してオンライン授業用教材の開発を行う計画である。また、①日本語自己学習のコンテンツについても、オンライン授業で作成した Moodle の小テストを利用するなどして充実を図りたい。



図1 漢字 書き順動画のトップページ (一部)